

病棟スタッフ・リハビリスタッフ・MSWの気持ちをこめた手作りのクリスマスカードを入院中の患者さんおひとりずつお贈りさせていただきました。



クリスマスには、
すべての道が
故郷へと向かう。
— マジョリー・ホームズ

スタッフ募集中

募集職種

看護師 介護職員

※資格不問

理学療法士 作業療法士 言語聴覚士

勤務地

西知多リハビリテーション病院(知多市)
知多リハビリテーション病院(半田市)

採用面接 **随時受付中!!** 見学も対応します

詳しくは下記お問い合わせ先までご連絡ください。

TEL (0562) 54-3500

求人採用
担当まで

充実した子育て支援体制
女性が長く働き
続けやすい職場です。

◎法人内保育完備
(夜間保育にも対応します。)



西知多
リハビリテーション
病院南院
「すくすく」
広い屋上庭園に面し、
安心して外で遊べます。



知多
リハビリテーション
病院南院
「のびのび」
木と漆喰の天然素材で
建てられています。

◎大学卒業までの家族手当延長制度
◎有休復帰後の短時間勤務制度

西知多リハビリテーション病院

西知多産業道路長浦I.Cから車で約4分

知多リハビリテーション病院

知多半島道路阿久比I.Cから車で約13分



駐車禁止

西知多リハビリテーション病院
薬局 駐車場

当院へお越しの方へお願い

病院の西側の駐車場（正面から見て左側）は、マンションの駐車場になります。絶対に駐車をしないで下さい。よろしくお申し込みをお願いします。



Nishi Chita Rehabilitation Hospital

医療法人 メディライフ
西知多リハビリテーション病院
TEL(0562)54-3500
FAX(0562)54-3502
ホームページアドレス
<http://medi-life.jp/>
職員募集中! 詳しくはホームページにて
随時院内見学お受けします

機能障害により引き起こされた生活障害に対して、早期から充実したリハビリテーションを提供しています。患者さんの自立性を高め、生活再建を果たせるよう共に努力し、ご支援いたします。

〒478-0021 愛知県知多市岡田字野崎13 TEL(0562)54-3500 FAX(0562)54-3502

診療時間：9:00～12:00(月～土) 診療科目：リハビリテーション科・内科 ◎通所リハビリテーション(1～2h) ◎訪問リハビリテーション

2018新春号(年4回発行)

西知多リハビリテーション病院情報誌

西リハだより

～開院4年目を迎えます～



リハビリ室にて 院長・副院長・リハスタッフ

西知多リハビリテーション病院院長の尾内です。本年もよろしくお願ひ申し上げます。早いもので、今年の5月で当院開院から丸3年になります。開院してしばらくは地域の方々への認知度も低く、患者さんにもなかなか来てもらえませんでした。しかし、徐々に知名度もあがり、近くの急性期病院との連携もより強固なものとなり、紹介患者数も増えてきました。4年目を迎えるにあたり、初心に戻って良い仕事をしたいと思ひます。回復期リハビリの良い仕事とは、急性期治療が済んだ患者さんたちが、より良い状態で自宅や社会に復帰できるようにお手伝ひすることです。幸ひ、各職種の人員は充足しスキルも上がってきました。本来の目的に向かって全職員一丸となつてがんばる年になつてお願ひしています

施設紹介 屋上庭園

当院には屋上庭園があります。屋上庭園は歩行訓練等のリハビリを目的としてだけでなく、それ以外に、入院生活の癒しの場や、レクリエーションの場として活用しています。写真にもあるように退院後の自宅のお庭をイメージした園芸作業もできます。屋上庭園の横には、院内託児も併設しており、天気の良い日は、子供たちが元気に走り回り、それを笑顔で見守る患者さんもみえます。しかし、屋上庭園の日頃のメンテナンスも大変で、手入れをしなければ、雑草だらけになったり、せっかく園芸で作ったお花や野菜が枯れたり育たなくなってしまう。そのため、「水やり当番表」を庭園の横に設置しており、気付いた人が水やりをし、そして、水やりをしたら、みんながわかるように当番表にチェックをするようにしています。時には、リハビリで庭園にいく患者さんがリハビリスタッフと一緒に水やりをします。これはまさに、入院後の生活を想定しながら、「役割」や「参加」を視点においたリハビリであり、日常生活のリスタートでもあると考えています。

今後も屋上庭園を活用していきたいと思います。リハビリに疲れた時の息抜きにもご利用してください。



当院における災害対策について

災害は、いつ何時発生するかわかりません。患者さんが安心して入院生活を送っていただくためには、災害が起きた時に何をすべきかを常に職員が意識し、行動できることが大切です。

当院では、防災委員会が中心となり、年2回の防災訓練を実施しております。最近では、平成29年12月1日に知多消防本部予防課の消防士の方にご協力を頂き、夜間の火災を想定し訓練を実施しました。夜間帯は日勤帯と異なり職員の数が少ないため、役割分担を明確にし、患者さんを無事に安全な場所へ誘導をしなければなりません。訓練でできないことが、万が一の災害時にできる訳がありません。消防士の方や患者さんに見守られながら、毎回、緊張感をもって訓練に取り組んでいます。同時に、消火器操作の訓練をおこない、特性や使用方法を学びました。

その他、院内の訓練だけではなく、市町村・保健所・基幹病院が実施している、知多半島医療圏災害連携会議に参加しています。行政や地域の方との連携を密にできるよう、起こりえる災害を想定しロールプレイや情報交換をしています。そして、EMIS(広域災害救急医療情報システム)という行政や他県医療機関への情報発信ツールについても定期的に訓練をおこなっています。

災害といっても、地震や火災、風水害など様々です。そのような災害に対応できるように日ごろから心構えや準備をしっかりしていきたいと思えます。まさに、備えあれば患いなしです。

